

枚方市立禁野小学校の 開校について

1. 新しい学校づくりに向けて
2. 子どもたちの交流について
3. 令和4年度からの禁野小学校における通学路について
4. 令和4年度からの学校生活等について

1. 新しい学校づくりに向けて

枚方市新しい学校づくり協議会について

- 令和3年3月、高陵小と中宮北小の学校統合における実施方策や実施時期等を示した「枚方市学校規模等適正化実施プラン」を策定しました。
- 令和3年4月、保護者、校区コミュニティ協議会、学校等の代表者からなる「枚方市新しい学校づくり協議会」を発足し、統合に関する諸課題について協議を行っています。

【枚方市新しい学校づくり協議会の主な協議事項】

事項	内容
新しい学校に関すること	新しい学校名、校歌（作詞・作曲）、校章・校旗、式典関係、学校運営、学校施設など
通学路等安全・安心に関すること	通学路、児童・保護者の不安の解消など
地域・PTAに関すること	PTAの活動、学校開放事業、いきいき活動、留守家庭児童会室など

学校名

両校区住民への公募を行い、新しい学校づくり協議会委員による選出や両校児童による投票等を経て、「**枚方市立禁野小学校**」に決定しました。

校章



両校の教職員でデザインを作成しました。

- 禁野小の禁の「K」、高陵小の高の「K」、中宮北小の北の「K」、希望の希の「K」
- 色は「あおぞら」、2本のラインは「天の川」の流れをイメージ
- 2本のラインは高陵小と中宮北小を表し、二つの流れが一緒になって、禁野小の「K」につながっていくようなイメージ

校歌

歌詞を全国公募し、応募いただいた歌詞（計66件）の中から、評価員の方々（2名）に選定作業を行っていただいています。
今後、評価員よりいただいたご意見を参考にし、教育委員会で校歌の歌詞を決定し、作曲を酒井 格氏（枚方市在住・作曲家・大阪音楽大学・同大短期大学部作曲講師）に依頼します。

今後のスケジュール

令和4年2月9日	禁野小学校入学説明会
令和4年3月末まで	仮設校舎増築工事、西門改修工事、高陵小から禁野小への引越作業など
令和4年4月	禁野小学校開校（現中宮北小校舎）
令和4年中頃～令和8年度内	解体工事、文化財調査、新校舎建築など 新校舎（現高陵小敷地）へ移転

2. 子どもたちの交流について

10月の合同校外学習

日にち	学年	校外学習先
14日（木）	2年生	キッズプラザ大阪
21日（木）	4年生	琵琶湖博物館
25日（月）	5年生	コマツ大阪工場
28日（木）	3年生	枚方市内めぐり
29日（金）	1年生	京都水族館

事前に、自己紹介を録画したビデオを交換し合い、互いの児童の映像と音声を見ることで親近感が増しました。

当日の校外学習では、両校混合の班を作り交流しながら楽しく体験学習することで、仲良くなることができました。

図画工作の交換

お互いの学校の1年生から6年生までの作品を交換し合い、校内に掲示しました。

支援学級児童の芋掘り体験

両校支援学級の児童が合同で芋掘りを行い、大きなさつまいもがたくさんとれ、楽しく交流することができました。

3. 令和4年度からの 禁野小学校における 通学路について

通学路の検討について

- ▶ 通学時における距離・所要時間
- ▶ 通学路における児童の安全性
- ▶ 通学路における危険個所の確認

保護者アンケートの実施について

▶ 関西外大御殿山キャンパス前について多かったご意見

- ・ 関西外大御殿山キャンパス前の道は直線でスピードを出しやすい。
- ・ 外大前の横断歩道の安全性が少し心配。



▶ 禁野・西禁野エリアについて多かったご意見

- ・ 西禁野から登ってくる道は、歩道がなく狭い上にガードレールもない。また、急カーブもあるので見通しも悪い。
- ・ 抜け道として使われており、自動車や自転車がスピードを出して降りてくるので危険である。



西禁野から登ってくる道

通学路の安全対策について

▶ 通学路における道路標記

- ・ 道路標記等の修繕

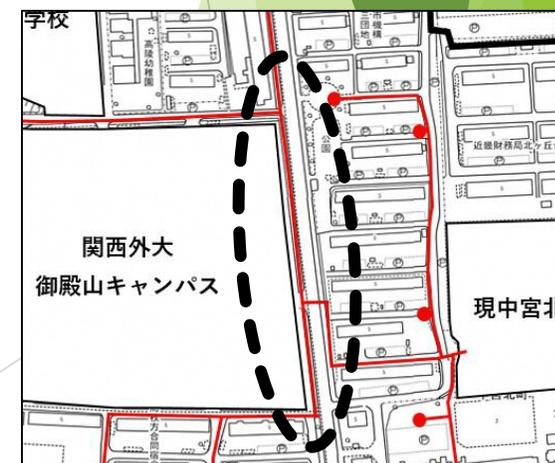
▶ 危険個所の改善

- ・ 注意喚起物の提供



▶ 新たな通学路に対する安全対策

- ・ 小学校及び地域との連携
- ・ 庁内関係課及び警察との連携
- ・ 関西外国語大学との連携



4. 令和4年度からの 学校生活等について

禁野小学校における「新しい学校づくり」

この「新しい学校づくり」は、令和3年6月に策定した「枚方市のめざす学校像」を指針として、高陵小学校と中宮北小学校を統合して誕生する禁野小学校での特色ある教育の取り組みとそれを実現するための環境整備にかかる概要を示し、令和8年度に開校する新校舎（高陵小学校敷地）のコンセプトとなるものです。

- ▶ 文部科学省が示した「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」（令和3年8月中間報告）を踏まえて作成
- ▶ 「誰ひとり取り残さない」世界の実現をめざすSDG sの持続可能な達成目標を掲げ、未来に向かう新しい学校づくりを推進
- ▶ 今後、これまでの高陵小学校、中宮北小学校両校での学びをさらに発展させ、児童の心身の健やかな成長のため、以下の4項目を基本的な方向性として、具体的な取り組みについての検討を進めていく。

1. 一人ひとりの子どもを大切にし、志を育む学校づくり
2. 枚方版「ニュー・スマート・スクール」の推進
3. 子どもの夢を育てる豊かな学校づくり
4. 地域とともにある学校づくり

具体的な整備（案）

- ▶ 多目的な活用ができるオープンスペースを設置
- ▶ 施設・設備のバリアフリー化（エレベーター、バリアフリーストイレ、シャワー室の設置など）
- ▶ 体育館にエアコンを設置
- ▶ ICTを活用した様々な取り組みを可能とする教室の整備
- ▶ 木材を活用した温かみのある生活空間の整備
- ▶ ゼロエネルギーに向けた整備（太陽光発電、建物断熱など）

※今後、市立小学校の水泳授業において、民間活力の活用を進める観点から、新しい学校にプールは設置しません。



ICTを活用した教室のイメージ